

【みえの遺跡紹介】松阪市 高城跡（国史跡 附）

5月8日に松阪市の国史跡阿坂城跡を紹介しましたが、今回は、阿坂城跡と一連のものとして国史跡の「附（つきたり）」になっている高城跡（たかじょうあと）を紹介します。

高城跡は、阿坂城跡がある阿坂山の麓、標高約70mの丘陵上にある城です。城の中心には方形の曲輪（くるわ 将兵がたてこもる平坦地）があり、その北・西・南の三方には土塁（どるい 土で造った城壁）があります。曲輪の東西には虎口（こぐち 曲輪への出入口）があります。西の虎口では、曲輪への通路が折れ曲がっていたり、虎口を見下ろす部分の土塁が高くなっていたりします。東の虎口では、土塁が通路に向けて突き出すように築かれています。

江戸時代の書物には、阿坂城跡の東には二つの出城があるとされています。この説をとって、高城跡は阿坂城の二つの出城の一つとして、その「附」になっています。 （活用支援課）

